

電気自動車 (EV) を導入しませんか？



リース期間5年／メンテナンスリース

日産 新型リーフ (Xグレード)

月額リース料 **59,400円～ (税別)**

※付属品内容・・・ナビゲーション、フロアマット、サイドバイザー、ETC、バックモニター
※自家用EV補助金は計上していないお見積金額となります。

自家用EV補助金交付の場合 **月額リース料 46,300円～ (税別)**
(786千円)

メンテナンスリースに含まれる内容

車両購入代金	登録関連費用	自動車税 (種別割) (契約期間分)	自動車税 (環境性能割) (契約期間分)	重量税 (契約期間分)	自賠責保険料 (契約期間分)	車検費用	故障修理 ※事故等の過失は対象外	各種消耗品交換	定期点検	タイヤ交換

POINT! メンテナンスリースでここまでやります！

■ スケジュール点検

お車の走行距離に応じて定めたサイクルで、規定のスケジュール点検を行います。

■ 法定点検

法定の定期点検、および整備を行います。

■ 継続車検

車検のための点検・整備、および関連する検査手続の一切を行います。

■ 所定の消耗品の交換、および補充

走行距離、および経過期間などの基準にて、所定の消耗品の交換、補充を行います。

■ タイヤ交換

摩耗度に応じて交換します。ただし、契約本数以内とします。

■ 故障修理

正常な仕様において発生する故障の修理、および部品交換を行います。

メンテナンスリースの主な導入効果

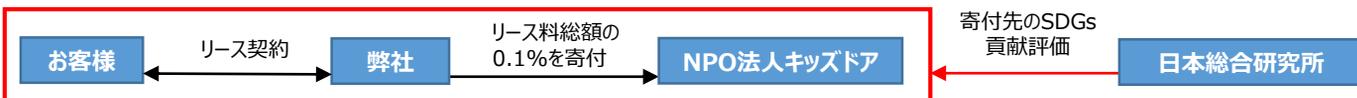
1. 車両に関する**“コストの見える化”**がはかれます。 ⇒ 月々のお支払いになるので、予算の作成が簡単になります！
2. **“車両管理業務の軽減”**ができます。 ⇒ 人件費の抑制や働き方改革に繋がります！
3. **“資金の有効活用”**を実現します。 ⇒ 多額の資金調達が必要。本業へ資金を活用することができます。

電気自動車 (EV) ご導入のメリット



SDGsの貢献策をお悩みのお客様／気軽に貢献したいお客様必見！

『SDGsリース (寄付型・自動車版)』でSDGsへ貢献が可能です！



- ✓ お客様と締結するリース契約を通して寄付を行います。(寄付先：NPO法人キッズドア)
- ✓ ご協力いただいたお客様名を、弊社および三井住友ファイナンス&リースのホームページ等でご披露いたします。(社名を出さない事も可能です)
- ✓ 寄付効果を日本総合研究所が評価し、評価書をお客様にお渡しします。

本件に関するお問合せ先



住友三井オートサービス

さいたま支店

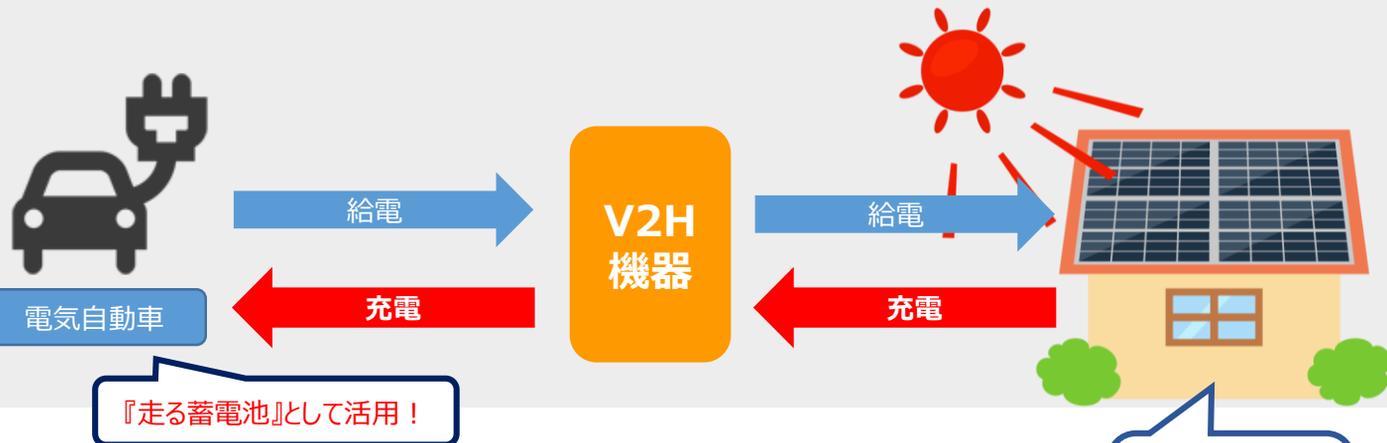
営業担当：林 翼

☎048-648-7211

☎080-6849-0327

V2Hを活用し、電気自動車を『走る蓄電池』に！

V2H（ブイツーエイチ）とは？・・・『Vehicle to Home（車から家へ）』の略。
電気自動車に蓄えられた電力を、家庭用に有効活用する考え方のことです。



V2Hのメリットは？

- ✓ 電気代の安い**深夜電力**でEVの**充電**が可能！
- ✓ EVの電力を家庭で使うことで、**電気代の削減**を実現！
- ✓ 万が一の**災害、停電時**もEVの電力で対策が可能！
- ✓ 太陽光発電システムを導入すれば、**太陽光で発電した電気をEVに充電可能**！
⇒再生可能エネルギーで充電した電力を利用すれば、**CO2削減**に貢献できます！



再生可能エネルギーの利用、SDGsリースの活用をPRすることで、**企業イメージの向上**が図れます！

【非常時の電源確保に活躍します！】

3日程度の非常用電源をEVから給電
※日産リーフ Xグレード (40kWh/バッテリー搭載車) の場合
(災害時、電力復旧まで概ね1~2日程度)

※EV車から外部機器へ給電するにはパワーコンディショナーが必要です。

BCP対策に有効なアイテム『走る蓄電池』！

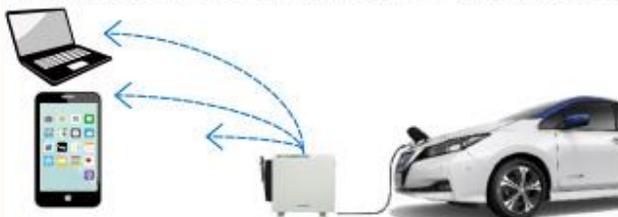
【同規模の蓄電池設置より高い経済性】

例えば40kWバッテリー搭載のEVと同規模の蓄電池を設置しようとする、相応の設備投資が必要です。
EVなら**普段は自動車**として利用し、**非常時には蓄電池機能**として利用することができます。資産の有効活用が期待できます。

蓄電池よりも高いコストパフォーマンス！

【給電イメージ】

大震災に伴う停電時などの万が一の際にEVの電気を通信電源の確保や情報収集機器・照明など、災害緊急対策本部への給電に活用できます。



※右表は電化製品のカタログ値に基づいて試算した理論値です。実際の消費電力及び使用可能時間は異なります。

下記の災害対策本部への給電事例で、3日程度の給電が可能！

※日産リーフ Xグレード (40kWh バッテリー搭載車) の場合

項目	機器 (家庭用電源(単相200V))	使用数	使用時間	消費電力	
				1台当たり	合計
照明	屋内照明(40w蛍光灯)	10本	8.0h	40W	3,200W
業務	ノートパソコン	5台	5.0h	50W	1,250W
通信	携帯電話充電	20台	3.0h	10W	600W
情報	プリンタ	1台	2.0h	500W	1,000W
情報	液晶テレビ	2台	4.0h	250W	2,000W
食事	電気ポット	2台	1.0h	1,200W	2,400W
合計				1日当り	10,450W

本件に関するお問合せ先



嵐山支店

☎0493-61-1182

V2H担当 齊藤

☎090-1768-4094